

(2) 東北



東北地域では、景気は足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。
- ・ 個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

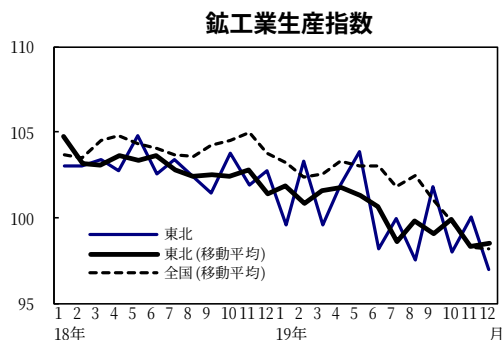
前回からの主要変更点

	前回（令和元年11月）	今回（令和2年3月）	
景況判断	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる</u>	↓
個人消費	底堅く推移	足もとでは、 <u>新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる</u>	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。

10－12月期には、電子部品・デバイス、コネクタ等が増加したことにより、増加した。食料品は、清酒等が減少したことにより、減少した。化学・石油製品は、ガソリン等が増加したことにより、増加した。輸送機械は、自動車用エンジン等が減少したことにより、減少した。生産用機械は、半導体製造装置等が増加したことにより、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7－9 月期	10－12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	3.5	1.0	▲2.3	4.1	0.5
食料品	11.0	1.9	▲1.6	▲2.6	▲1.5	▲1.3
化学・石油製品	9.1	0.7	2.4	▲12.5	9.9	▲3.2
輸送機械	7.9	▲2.6	▲7.9	▲8.8	6.8	▲8.4
生産用機械	6.7	▲11.0	4.5	▲1.0	2.9	▲9.9
鉱工業	100.0	▲1.5	▲1.4	▲3.7	2.1	▲3.1

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 10－12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。

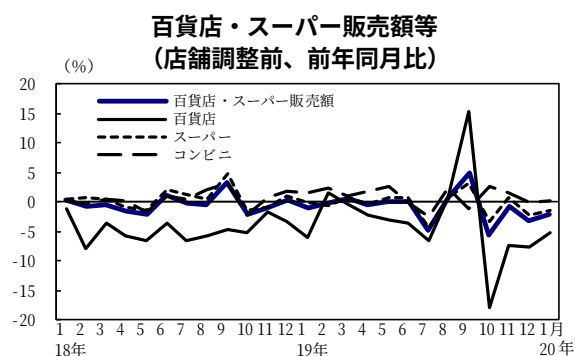
(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

10月は前月比5.7%減、11月は同1.2%増、12月は同1.6%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は、身の回り品等が減少したことから前年を下回った。11月は、衣料品等が減少したことから前年を下回った。12月は、衣料品等が減少したことから前年を下回った。1月は、前年を下回った。

スーパーは、10-12月期は、身の回り品等が減少したことにより、前年を下回った。1月は、前年を下回った。



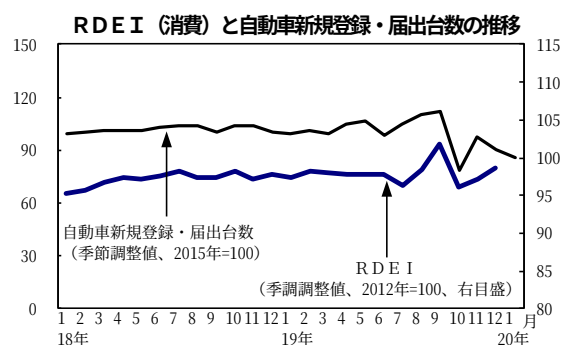
	2019年 10-12月	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月
RDEI（消費*1）	▲1.6	▲5.7	1.2	1.6	—
百貨店・スーパー(*2)	▲3.2	▲5.7	▲0.8	▲3.2	▲2.1
百貨店(*2)	▲10.5	▲18.0	▲7.4	▲7.6	▲5.1
スーパー(*2)	▲1.7	▲3.3	0.7	▲2.3	▲1.5
コンビニ(*2)	1.4	2.7	1.6	0.0	0.2
乗用車(*3)	▲13.6	▲24.6	▲6.8	▲8.6	▲13.6
(季節調整値)(*3)	▲18.6	▲30.0	24.6	▲7.2	▲4.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

2020年1月は速報値。

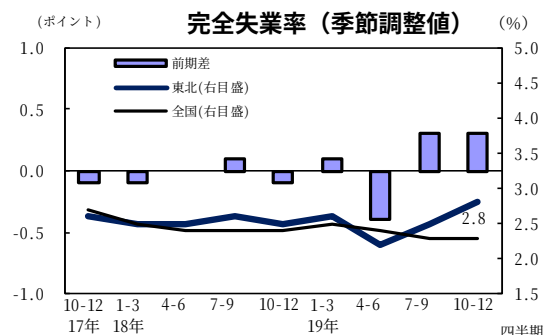
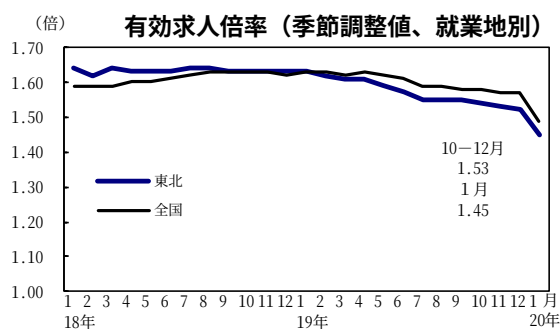
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段)前年同期(月)比(%)



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (2020 年 2 月調査) 景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不变、▲やや悪、×悪)

	分野	判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	□	・来客数は前年を上回っているものの、客単価が減少している。消費者は以前にも増して価格に敏感になっており、買い回りの傾向が強くなっている（スーパー）。
		▲	・連日の新型コロナウイルスの報道を受け、マスクやアルコール除菌スプレーの売り切れや、高齢者を中心に極力人混みへの外出を控えるなど、地方の商店街にも景気の減速が始まっている（商店街）。
		×	・新型コロナウイルスの影響で複数のキャンセルが発生しており、非常に厳しい状況である。また、消費税の引上げにより、景気も冷え込んでいる（高級レストラン）。
	企業 動向 関連	□	・販売量の数字に変化がほとんどみられていない（コピーサービス業）。
		▲	・新型コロナウイルスの影響により、株式の下落など世界規模で経済的なダメージが発生している（電気機械器具製造業）。
		×	・2月は元から土産物の需要が高くない月ではあるが、新型コロナウイルスの影響が大きくなるにつれて、更に需要が低下している。前年もここまでひどい状況ではなかった（食品製造業）。
		○	—
先行き	雇用 関連	▲	・新型コロナウイルスの影響で、ホテルや飲食業を中心に宴会などのキャンセルが相次いでおり、その関係で求人も少なくなっている（人材派遣会社）。
		×	・事業所の採用意欲は高く、有効求人倍率は依然として高水準で推移している（職業安定所）。
	その他の特徴 コメント	□	・客の基本的な消費意欲は低下しているが、新型コロナウイルスの影響により、消毒薬などの需要で店頭の来客数はやや増えている。そのため、今月は全体として横ばいで推移している（一般小売店 [医薬品]）。
		×	・2月は新型コロナウイルスの影響が大きい。夜になると街中に人の姿がなくなってしまう（タクシー運転手）。
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連	×	・このまま新型コロナウイルスの影響が続くと、不要不急の消費行動が主体となり、入学卒業などの新年度行事も縮小となる。そのため、消費に大きな影響が出るとみている（百貨店）。
		□	・当県内の宅地価格の高騰や、新築着工時の住宅補助が不足しているため、現在の状況が続くとみている（その他住宅投資の動向を把握できる者 [住宅展示場運営会社]）。
	企業 動向 関連	▲	・新型コロナウイルスの影響でイベントが中止になるなど、東北地域にも影響が出ており、先行きは極めて不透明である。景気後退で民間の設備投資が手控えになることを懸念している（窯業・土石製品製造業）。
		×	・冬場の地元温泉は農閑期の農家の利用が多いが、今期は減収のため利用客が減少している。また、新型コロナウイルスの影響もあり、来客数が大幅に減少している（農林水産業）。
	雇用 関連	▲	・新型コロナウイルスの状況によって、かなりの景気低迷が見込まれる（学校 [専門学校]）。
	その他の特徴 コメント	▲	・新型コロナウイルスの影響で車の納期が遅れている（乗用車販売店）。
		×	・寺院の近くということもあり、外国人観光客が増えていたが、ここにきて激減している。先行きは非常に暗いと言わざるを得ない（一般レストラン）。

(D I)

現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

